

JHのイメージアップへの取り組み事例紹介

日本道路公団 高松建設局
技術部 工務課 増島 隆夫

はじめに

近年、建設事業等のイメージアップを図るべく、産・学・官の各界でいろいろな取り組みが展開されてきているところですが、背景としては若年建設労働者の確保が困難となったり、若手技術者の建設業離れがきっかけとなっているものです。

JH日本道路公団においても、建設事業の推進や職員採用等の観点から、公団事業と密接な係わりを持つ建設業のイメージアップを積極的に支援し、また、JH自身も取り組んでいく必要があることを認識して、CAP活動を現在展開しているところです。このCAP活動は、CAP（Charming Active Program＝魅力ある建設・管理事業の計画と行動）を標語として、建設・管理事業のイメージアップを図ることを目的とし、JH内のCI活動の一つとして位置付けられたもので、建設・管理事業の内部外部の意識改革を行っていかうというものです。CAP自体は平成3年度から発足したのですが、イメージアップのための活動は、その前年度からスタートしており、建設省を始めとする関係機関や民間事業者の方たちのいろいろな取り組み活動とも歩調を合わせた展開となっています。

CAP活動は建設・管理双方に対して実施していますが、今回は建設事業に対する取り組みを中心に事例等の紹介をします。

1. CAP活動の内容

建設・管理事業のイメージアップを図り、魅力ある建設事業を創出するために、JHの内部の職員の意識改革はもちろん、JHの建設・管理現場の最前線の顔ともなる工事等の請負人の方々の協力を得ながらの活動が必要となります。また、事業を進めていくにあたっては地域の方々の協力が必要不可欠なものであり、地域の方々に理解して頂けるような、事業の説明やPRが必要となります。CAP活動はそれらのJH内部外部のイメージをより良くしていくために、JH内のCI活動の一環として位置付けられ実施しているものです。

CAP活動の経緯としては、先ず、各工事等の現場でイメージアップ活動を推進し、定着させていくための最初のステップとしてモデル工事事務所の設置を行い、いろいろな取り組みを実施して、PR・評価したうえで現在の全国展開に至っています。

建設現場における具体的なイメージアップのためのメニューを以下に紹介します。

① 作業環境の改善

- a. 現場事務所・職員宿舍の改善
- b. 現場内休憩所の設置
- c. 工事用目隠し板の整備（壁面に周辺環境にマッチした絵など）
- d. 工事現場入口のバリアード等の改善
- e. 花壇等の設置

② 広報の実施

- a. PR看板の設置
- b. 一般の方のための現場見学会の実施
- c. 模型等の設置
- e. 現場紹介のためのパンフレット等の作成

③ 地域とのコミュニケーション

- a. 各種イベント等への参加
- b. 地方行政等の広報誌等への情報提供
- c. 現場内での小学生等によるスケッチ大会の実施

2. 全国における具体的な実施例

JHの建設現場におけるイメージアップのための具体的な過去に実施された事例を紹介します。

① 「山陽道」神戸から3J” 自信・自覚・自負」 JH神戸工事事務所管内 三木高架橋

特徴 当事業は地域との調和、職場環境の改善、意識改革を基本理念にかかげ、ハード、ソフトの両面から従来の建設現場のイメージからの脱却を図るため、現場事務所はオフィスのイメージと地域とマッチしたやわらかな印象とし、執務室はプライベート空間とビジネス空間が調和したレイアウトとなっている。

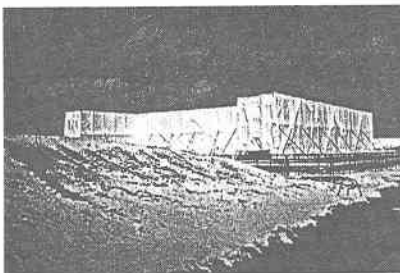
効果は、付近の住民の方も気軽にオフィスに立ち寄れるようになるとともに、現場内も職場環境を改善したことにより意識改革が進み、整理・整頓がなされて労働災害防止や品質管理等が向上した。また、広報活動を実施した結果、地方自治体を始め関連機関からの見学が増えるとともに新聞（地方版）に掲載、紹介された。

② 「親しみあるハイウェイ建設をめざして」 JH仙台工事事務所管内

特徴 仙台東道路のうちJH施工分の14.1kmの区間に対してイメージアップの取り組みを行ったもので、見学ステージを設置して各種見学会を行うとともに現場事務所の改善として外壁の色を白にし、柵をグリーンフェンスとし、玄関前に花壇を設置して開放的で明るい事務所としている。また、現場宿舍入口に門扉を設置して従来の「飯場」のイメージを払拭し、現場内（土取り場）の入口付近にダンプ運転手の休憩室を設置し、ダンプに安全運転のシンボルマークを付けたほか、全面シート掛けを義務付け安全運転を励行した。さらに、冬季の寒風対策としてカルバートボックスの施工ヤードに全面を覆うシートを設置して作業環境の改善と品質管理の向上に効果をあげた。

③ 「創ります、あなたの未来、山陽道」 JH尾道工事事務所管内

特徴 当事務所では土木の現場を理解してもらい、現場の中を見てもらうことを基本方針として、イメージアップを図っている。まず、地域の住民の方とのコミュニケーションを深めるために積極的に現場見学会を行い、工事・事業のPRのためモデル現場として3工種（土工、トンネル、橋梁）の現場を選定して、子供や女性の方にも理解し易い工事パンフレットを作成し、見学会を行っている。また、JR新尾道駅の市民ギャラリーに工事進捗状況写真、完成予想写真やパンフレットの展示を行い、住民の方の事業に対する理解を深めている。



カルバートボックス工事の寒風対策



子供向け工事説明用パンフレット

作業環境の改善としては、現場事務所の改善及び現場内にコミュニティ広場の設置を行い、作業員の意識向上に貢献するとともに憩いの場として利用された。

3. 高松建設局管内における実施例

以下に、JH高松建設局管内で実施されているイメージアップのための取り組みを紹介します。なお、高松建設局におけるイメージアップ活動は、四国内のSKIP活動とも合わせたものとなっています。

1) 平成5年度

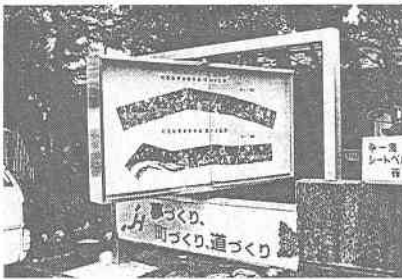
① 「徳島自動車道 ふれあい広報版」 JH脇町工事事務所

特徴 当工事事務所は地域とのコミュニケーションを図り、JHの事業を紹介することを目的として「徳島自動車道 ふれあい広報版」を作成し、徳島道沿線の地元の皆さんの目に触れ易いように美馬町と三野町の各役場内に設置している。広報版には高速道路沿線の史跡や観光地などを写真等で紹介するとともに、高速道路ルート of 航空写真を工事が進むに従って更新していきその移り変わりを知ってもらえるように配慮している。

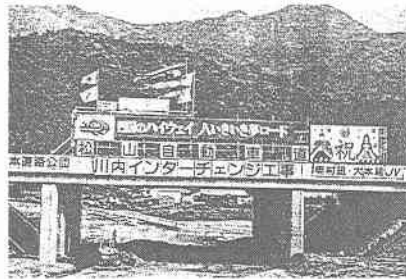
当活動はSKIPグランプリ'93の「いきいき現場大賞」ソフト賞を受賞している。

② 「松山自動車道 川内インターチェンジ工事」 JH松山工事事務所

特徴 四季折々の事象（1月獅子舞、3月ひな祭り、5月鯉のぼり等）のイラストを製作し、工事見学用の展望台に展示するとともに、ライトアップし地域の住民の方の高速道路工事に対する関心を深め、安全標語を併せて掲示することで、作業者等工事に従事する者に対する安全啓蒙を図っている。イラストの製作は工事を請負った共同企業体の職員自らがを行い、作業員との和の形成にも役立った。



ふれあい広報版



イラスト付き工事看板

2) 平成6年度

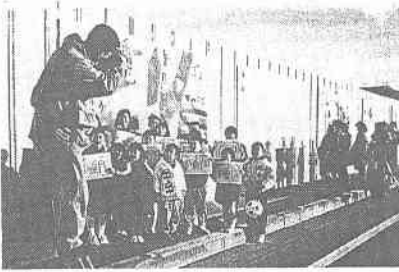
① 「徳島自動車道 徳島インターチェンジ工事」 JH徳島工事事務所

特徴 建設事業のイメージアップと建設事業への興味を地域の方に持って頂くため、「縦貫道ギャラリー「壁画図案コンクール」」と題して、小中高校生を対象に「未来の道、楽しい町」をテーマに工事用仮囲いの壁面の図案を公募した。応募作品数169点の中から優秀作品25点をパネルとして仮囲い壁面に設置した。設置箇所は国道のバイパス部であり交通量等も多く道行く人の目を楽しめるとともに現場に明るいイメージを作り出した。

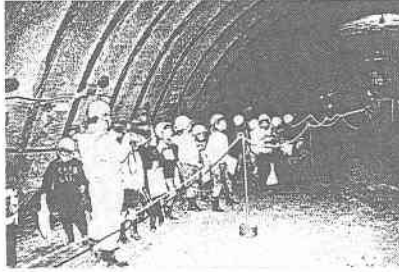
また、工事現場の入り口付近に学校等もあり、ガードマンに対する教育を徹底し安全誘導に努めるとともに、ダンプ運転手への安全運転指導も徹底して行うなど周辺住民の方へのきめ細かい配慮を実施した。

② 「高知自動車道 逢坂山工事」 JH高知工事事務所

特徴 当工事は建設事業のイメージアップと地域住民の方とのコミュニケーションを図るため、一般の方が普段目にする事のないトンネル工事の現場を紹介するためにトンネル坑口に見学ヤードと説明用の看板を設置し地域住民の方や小学生を対象に見学会を行っている。また、工事用仮囲いの壁面に小学生の描いた絵を展示して、工事現場の殺風景さを和らげている。



縦貫道ギャラリー壁画図案コンクール



トンネル工事現場見学会

以上は、平成2年度から実施されているJHの発注工事等での取り組みの一例と高松建設局管内の工事における取り組みを紹介していますが、いずれも、現場内や現場事務所などの環境改善と地域とのコミュニケーションを図るために見学会等を行うことにより、建設事業をより魅力あるものとし、地域の住民の方に理解していただくために努力しているものです。これらの取り組みは、今後建設事業を進めていくうえで発注者やそれを請け負った業者の方たちの双方がお互い積極的に取り組んでいくべきものと考えられます。